

週報

国際ロータリー第 2660 地区

平成 31 年 4 月 16 日

第 2843 回例会

第 2426 号



インスピレーションになろう

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2018~19 年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン
BE THE INSPIRATION

Rotary



2018.7~2019.6

会 長 武枝敏之
副 会 長 谷野桂子
幹 事 矢口正登
雑誌・広報・会報委員長
森本博明

本日（4 月 16 日）のプログラム

次回（4 月 23 日）のプログラム

「地域医療構想」

「SDGs への取組について」

卓話担当：真下 節

卓話担当：西蔵仁司

☆会長の時間☆

「平成から令和へ」

2018-19 年度 会長 武枝敏之

皇太子様の即位により平成に続く元号が令和に変わることが 4 月 1 日に発表されましたが、これと時を同じくして 2024 年をめどに新紙幣と新硬貨の流通が始まることも併せて発表されました。紙幣などの流通は日本が最も多いとのこと。近隣の中国や韓国では電子マネーの普及率が 80% を超えています。カードを使用するのは、大変便利で使用する機会は増えています。

財布の中には、紙幣よりも、カードが多くカードの管理のほうが大変な気がします。

紙幣の話に戻します。変更後は、1 万円札は、渋沢栄一さん。5 千円札は、津田梅子さん。千円札は、北里柴三郎さんになるようです。テレビをつけるとこの三人の経歴などの話ばかりです。紙幣のデザインは、近年は 20 年周期で変更されているようです。

また、ビッグニュースが、4 月 10 日に発表されました。ノーベル賞クラスとか、今世紀最大の物理学の成果であるとのニュースです。『ブラックホール存在に関する初の直接証拠』や『ブラックホール撮影成功』の文字が新聞紙上を賑わせました。ご存知の通り、ブラックホールは強い重力で近くの物質や光を飲み込む特殊な天体のことを指し、重い星が大爆発を起こした後に生まれるとされています。

この発見の記事によると、世界に 6 か所ある 8 つの電波望遠鏡を連動させ、きわめて解像度の高い巨大望遠鏡に見立てて観測したとのこと。その能力は地球から月表面にあるゴルフボールを観察できるほどのもので、人間の約 300 万倍の視力が必要であるとのこと。この巨大望遠鏡の能力は、我々の想像をはるかに超えるもので、データ処理能力や、1 億年で 1 秒もずれない正確な時計などの技術が統合されたものであるとのこと。

この研究の中心的な役割を果たした研究者が、国立天文台教授の本間希樹（まれき）氏でした。彼は「誰もその姿を見たことがなかったブラックホールの姿を撮影でき、アインシュタインの一般相対性理論を裏付ける結果となった。過去 100 年にわたる物理学的、天文学的な問いに対する明確な答えだ」と述べられています。

平成から令和への橋渡しとしての大きな 2 つの出来事を述べました。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例会日時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事務局：10 時～16 時（土日祝を除く）

HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2842回	第2839回
例会日	4月9日	3月12日
①会員数 A	36	35
(内出席免除者)	5	5
②出席義務者数	31	30
③出席義務者出席数	21	22
④出席免除者出席数	4	4
⑤メイクアップ数		1
⑥出席義務者欠席数	10	8
出席率 %	73.53%	79.00%

出席率(前回) = ③+④/②+④ 出席率(前々々回) = ③+④+⑤/②+④

○幹事報告○

- ・〈公財〉米山記念奨学会より
「ハイライトよねやま 229」が届きました。
▼全文は、こちらよりご覧ください。
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight229.pdf>
- ・東大阪東 RC より
「春の RYLA セミナー米山奨学生登録のお願い」が届きました。

☞ 掲 示 板 ☞

- ・未来計画委員会開催の案内
日 時：4月16日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会場前
- ・第3回被選理事会開催の案内
日 時：4月23日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会場前
- ・春の RYLA セミナーの案内
日 時：4月27日(土) 28日(日) 29日(月・祝)
場 所：ホテルセイリュウ/枚岡公園/花園ラグビー場
ホスト：東大阪東ロータリークラブ

※4月30日は春の家族会の振り替えの為例会休会です。

- ・春の家族会の案内
日 時：5月12日(日)
～京都先斗町鴨川踊りと八坂・中村楼～
- ・第11回定例理事会開催の案内
日 時：5月14日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー3F 例会場
- ・ガバナー補佐エレクト訪問
日 時：5月28日(火) 例会場
12:00 から懇談会があります。
懇談会場所：ホテルアイボリー3F 例会場前

・🌸4月9日のニコニコ箱報告🌸

- ・入会記念日祝いを頂いて 西蔵会員

♪本日の唱歌♪

「牧場の朝」

作詞：杉村楚人冠 作曲：船橋栄吉

ただ一面に立ちこめた
牧場の朝の霧の海。

ポプラ並木のうっすらと
黒い底から、勇ましく
鐘が鳴る鳴る、かんかんと。

もう起出(おきだ)した小舎小舎(こやごや)の
あたりに高い人の声。
霧に包まれ、あちこちに、
動く羊の幾群(いくむれ)の
鈴が鳴る鳴る、りんりんと。

今さし昇る日の影に
夢からさめた森や山。
あかい光に染められた
遠い野末(のずえ)に、牧童(ぼくどう)の
笛が鳴る鳴る、ぴいぴいと。

唱歌担当：松本拓朗

唱歌担当：

- ・ 4月23日 「バラが咲いた」 小牧 会員
- ・ 5月14日 「我がロータリーに栄あれ」
小牧 会員
- ・ 4月チーフ：米田会員
- ・ ◎副幹事・副 SAA 当番◎
- ・ 4月副幹事 山形 進 会員
- ・ 4月副 SAA 小牧義昭 会員
- ・ ◎親睦委員会受付当番
- ・ 4月23日 田中会員 森本会員
- ・ 5月14日 小牧会員 松本会員

「和歌山と私」

卓話担当：小牧義昭



平成23年（2011年）9月、紀伊半島に豪雨をもたらした多数の犠牲者を出した大型台風12号。その復興イベントとして始まったのが新宮・那智勝浦天空ハーフマラソンで、毎年多くの市民ランナーが参加する。昨年は関西地区を中心に大会参加者の約1割となる300人程の信用金庫関係者が参加した。

きっかけは年金旅行であった。人口減少と地域産業の復興に悩む和歌山県は観光に活路を見いだそうと、きのくに信用金庫、新宮信用金庫は年金旅行誘致に動いた。全国の信用金庫がその声に応え年金旅行連携の先行モデルとなった。

ところが先の台風被害で那智勝浦町や新宮市が大きな打撃を受けた。当金庫が企画していたお客さま旅行総勢1,000人の旅行は甚大な被害を考慮し延期を決定した。約1ヶ月後、風評被害で観光客が激減する中、那智勝浦町、新宮市に向けて旅行を実施した。参加いただいたお客さまは800人に減少したが、訪れた観光地、宿泊ホテルから大変感謝いただいた。その後、多くの信用金庫が年金顧客旅行の行先を和歌山県として訪れることとなった。和歌山県にとって団体旅行の経済効果は大きく、現在も和歌山県は誘致活動を続けている。

台風被害の翌年、復興を祈願してスタートした天空ハーフマラソンは普段足を踏み入れることのできない自動車専用的那智勝浦新宮道路を走る。大会の前日には信用金庫関係者がホテルに集合し、「天空ハーフマラソン前夜祭」と題して、新宮信用金庫がホストとして開催されている。私は呼びかけ人と成り行きで企画・立案から司会を毎年仰せつかっている。宴会は3時間にも及ぶ。当初はカラオケ大会だけであったが、各信用金庫が知恵を絞り、衣装を揃えてのカラオケパフォーマンス大会を開催。昨年は当金庫が「安室奈美恵のヒーロー」を歌とダンスで優勝。前夜祭の終わりには「ランナー」と「サライ」を全員が輪になって合唱し、信用金庫の絆を強固なものにしている。

和歌山県とは縁もゆかりもない私だが、信用金庫のご縁で何度も訪れることとなった。熊野三山とは熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社の総称。全国3000社あまりの熊野神社の総本社である。「伊勢に七度（ななたび）熊野に三度（さんど）」、信心はいくら深くてもし過ぎないという言葉があるが、私は伊勢より熊野を数多く訪ねている。2月6日は1400年以上前から行われている新宮市の神倉神社「お燈まつり」。約2,000人の上り子（のぼりこ）が、神倉山の山頂から538段の急峻な石段を駆け下りる勇壮な火祭り。「お燈まつり」には県外の方や観光客も参加できる。今年も仕事を午前中までにして4回目の参加となった。「来る者は拒まず」そんな熊野が好きだから何度も和歌山を訪れている。

四月

旧暦4月を卯月（うづき）と呼び、現在では新暦4月の別名としても用いる。卯月の由来は、卯の花が咲く月「卯の花月（うのはなづき）」を略したものであるというのが定説となっている。しかし、卯月の由来は別にある。卯月に咲く花だから卯の花と呼ぶのだとする説もある。「卯の花月」以外の説には、十二支の4番目が卯であることから「卯月」とする説や、稲の苗を植える月であるから「種月（うづき）」「植月（うゑつき）」「田植苗月（たうなへづき）」「苗植月（なへうゑづき）」であるとする説などがある。他に「夏初月（なつはづき）」の別名もある。

日本では、新年度または新学期の時期として有名であり、学校・官公庁・会社などでは当月に入社式・入学式が行われ、前月の3月と同様に慌しくなる。世帯数や人口は少ないが、「卯月」という姓（名字）も存在する。4月は毎年7月と同じ曜日で始まり、閏年には1月とも同じとなる。

ウィキペディアより